

【出題方針】

本学生物生命学科の小論文では、知識の有無を問うのではなく、「生物・生命」という現象に対してどのような関心をもっているのか、その関心事をどのように理解し、または課題として考察しているのか、そして、そうした自分の考えを論理的に記述し、表現できるかを重視します。たとえば、「本学科で学んだことをどのように社会に貢献したいと思っていますか」や「生物・生命科学に関してあなたが関心を持った最近のニュースについてその概要と理由を教えてください」といった問いを通して評価します。

小論文では、物事を正しく把握する力、論理的に思考し自分の考えや提案を的確に伝えることができる力、協調性をもって率先して課題に取り組む力を総合的に評価します。日頃から、自分の考えを自分の言葉で語れるように心がけて過ごすことが大切です。

【評価の観点】

- 設問をよく理解して回答していること
設問の趣旨や意図をきちんと理解していることが最も大切です。「何について」書くのか、「何を」伝えたいのかを明確にしてから書き始めましょう。
- 要点を簡潔に伝えていること
「何を」伝えたいのかを明確にしたら、それぞれを列記するなどの構成を考えて、最も簡潔な表現で記述するようにしましょう。
- 自身の主張が説得力をもって展開されていること
「伝えたいこと」の背景や理由などを簡潔に記述することで、読み手に主張が十分伝わるように工夫しましょう。
- 文章を論理的に構成していること
文章の構成は「序論」「本論」「結論」の三部組となるように、理由や結論が繰り返して記述されることがないよう心がけると良いでしょう。
- 日本語表現が適切であり、誤字脱字がないこと
「伝えたいこと」を表現する最も適切な言葉を選ぶことを心がけましょう。聞きなれない言葉を使わず、自分の言葉を丁寧に使いましょう。最後に見直して誤字脱字がないか確認しましょう。最後まで丁寧に取り組む姿勢も評価の対象になります。
- 指定文字数や原稿用紙の使い方で適切に対応していること
文字枠をはみ出していないか、不適切な空欄や段落換えをしていないか、確認しましょう。

【2025年度 専願志選抜 小論文 出題意図】

本学科では、生物工学・生命科学の専門知識を礎に、人々の「いのちとくらし」に貢献できる技術者・研究者の育成を目的としています。そこで、本小論文では、課題について正確に読み解くことができるか、論理的に思考・判断ができるか、基本的な語学力が備わっているか、主体的に取り組む自ら考えた解決策を提案・表現できるかを焦点に、受験者の資質と能力を多角的に評価することを意図しています。